GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	低炭素水素等
	対象	水素
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	水素
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	2025年より中部圏における産業横断での水素社会実装を目指す「中部圏水素利用協議会」に参画しています。水素利用技術や水素輸送など各種検討WGへの参画により、具体的方策や実証方法、政策提言を検討すると共に、協議会会員相互の勉強会や見学会において水素利活用の情報共有を実施しています。これらの活動を通じて、水素利用のポテンシャル、品質及び安全の確保、サプライチェーンの構築について連携して協議し、エネルギー事業者として低炭素水素等を調達します。そして、お客様への提案・販売を行い、当該地域における水素の導入を推進します。

b.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	フィルム型太陽電池の実用化に向けて、シート状架台による施工方法の開発事業者と連携し、電池の特性を損なわずに多様な設置場所に応用可能かつ施工コストの低減が可能な施工に取り組みます。また、産学官横断的に連携して都市部の壁面発電や営農型発電等の研究開発、実証、標準化、社会実装を推進することを目的とした「ペロブスカイト太陽電池の研究開発コンソーシアム」に参画します。これらの取り組みを通じて、地域の自治体・産業界や農業と連携した実証を検討・計画し、ペロブスカイト太陽電池を調達します。そして、お客様への提案・販売を行い、多様な設置環境に対応した次世代型太陽電池の普及を目指します。

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	水素
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

b.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	
目標年度	
基準年度	
目標削減率	
削減目標における選択対象の位置づけ	

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	水素
目標年度	

定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	子会社

※サーラエナジー株式会社

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

（日付）2026年9月18日

（企業名）株式会社サーラコーポレーション

（責任者名）代表取締役社長　神野 吾郎